

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によって行うが、参加者の年齢段階を考慮して競技を進行する。

2 練習場及び練習について

- (1) 本競技場での練習はできない。
- (2) 補助競技場(武道館南側)の使用時間は、午前 8 時から午後 2 時 30 分までとする。ただし、補助競技場へは引率者同伴で行き、練習はウォームアップ場係の指示を守り、安全に十分注意して練習すること。練習以外のために補助競技場を使用することは認めない。
- (3) 補助競技場のレーン使用区分は、原則として次のとおりとする。
 - ◇ 1,2 レーンは男子 1000m, 女子 800m
 - ◇ ホームストレート 3~8 レーンは短距離走
 - ◇ バックストレート 3~8 レーンはリレー

3 招集について

- (1) 招集場所は、第 1 ゲート(100m スタート側)外側に設置する。
- (2) 選手は競技開始の 40 分前から 20 分前までに招集所で点呼(コール)を受け、待機する。同時に背・胸・腰ナンバーカード、シューズ、衣類など競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
- (3) リレーオーダー用紙は、予選は 8 時 30 分までにリレーオーダー受付に、決勝は競技開始の 60 分前までに競技者係(招集所)に提出する。

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは本競技会配布のものを使用し、ユニフォームに固定する。
- (2) 競技者は、写真判定用の腰ナンバーカードを競技者係より受け取り、所定の位置に取り付け競技終了後フィニッシュライン付近で係員に返却する。

5 競技について

- (1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- (2) 決勝の組み合わせ、およびレーン順は競技場用コンピュータにより公正に番組編成し、その結果を記録表示板に掲示する。
- (3) 決勝進出できる選手もしくはチームは 8 名(8 チーム)とする。ただし、8 番目の記録と同記録(0.001 秒での判定)の者が複数で 9 名(9 チーム)になる場合は、9 レーンを使用してレースを行う。また、10 名(10 チーム)以上の場合は、8 番目の記録と同記録の者により抽選を行い、決勝進出者(チーム)を決定する。(表彰は 8 位までとする)
- (4) 短距離走および 4×100m リレー各走者は競技者の安全のため走り終わってから自分の割り当てられたレーンを走ること。
- (5) 100m と 4×100m リレーの出発姿勢は、クラウチングスタートまたはスタンディングスタートとする。
- (6) 各レースでの不正スタートは 1 回のみとしその後不正スタートした競技者はすべて失格と

する。その場合、走ることはできるが、参考記録とする。不適切行為については現地にて競技役員より選手に指導する。

スタート合図はイングリッシュコマンド（オンユアマーク・セット）で実施する。

(7) スタートブロックの使用は、6年男女の100mの決勝と4×100mリレーの決勝のみとする。

(8) 4×100mリレーのバトンパスは30mのテイクオーバーゾーン内で行う。

※スタートマークを使用したいチームは、主催者が準備した黄テープを招集所で受け取る。

※スタートマークを付けるのは1カ所のみとする。

※リレーでスタートマークを付けたチームは、レース後、責任をもってテープを取る。

6 表彰について

各種目1位～8位の入賞者に表彰状、1位～3位に副賞を授与する。

7 競技用靴について

(1) 競技用靴は運動靴または陸上競技用スパイクシューズとする。スパイクピンの数は11本以内で長さ7ミリを超えてはならない。

(2) 男子1000m、女子800mはスパイクシューズまたは突起物のあるシューズの使用を認めない。素足は認めない。

8 その他

(1) 医務室は、1階大会本部付近に設置されている(岡山県陸上競技場平面図を参照)。応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室で処置を受けてから本部へ連絡すること。

(2) 走り終わった選手は、係の指示に従って戻る。

(3) 横断幕は、バックスタンド最上段へ設置すること。

(4) この大会は個人の資格で参加し、万一事故などの場合は、主催者が加入した傷害保険の範囲内で対応する。また、貴重品の管理は各自ですること。

(5) ゴミはすべて持ち帰ること。また、ゴミ袋は持参したものを使うこと。

(6) 最前列や通路に立っての応援、及び、ホームスタンドでの声をそろえての応援はしてはならない。